

安城市雨水マスタープラン策定審議会

中間評価

【第3回】

令和7年11月10日



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

今回の内容

1 前回の振り返り

2 雨水マスタープラン改定案について（審議）

- ・ 全体の構成
- ・ 新規で追加された要素
- ・ 目標値の再設定

3 今後のスケジュールについて



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1 雨水マスタープランの中間評価について

- ・ **社会情勢の変化による影響**
 - ➡ 気候変動による影響
 - ➡ 人口減少による影響
 - ➡ 施設の老朽化による影響
- ・ 社会情勢の変化及び時点修正による見直し（報告）
- ・ 実績報告及び目標値の再設定（審議）

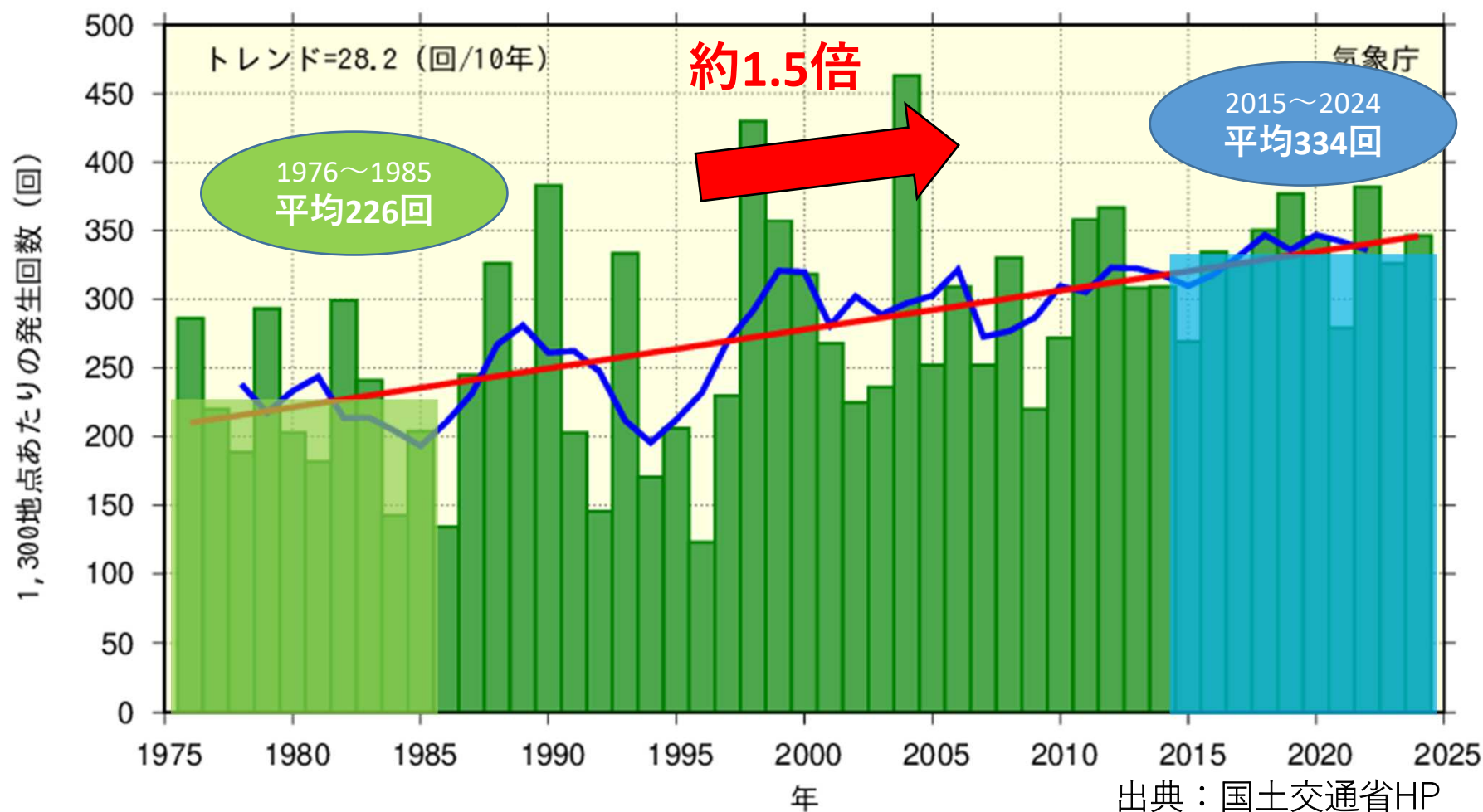


前回の振り返り

【近年の社会情勢の変化】

気候変動による降雨への影響

〔全国アメダス〕1時間降水量50mm以上の年間発生回数



2 社会情勢の変化による影響について

【近年の社会情勢の変化】

気候変動による降雨への影響

雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）（国土交通省）
に基づく計画降雨量の変化

重要 3 排水区

- ・ 追 田 排水区
- ・ 勢井前第一排水区
- ・ 大山田第一排水区

変更前

62mm/hr

1.1倍

変更後

68mm/hr

その他排水区

56mm/hr

1.1倍

62mm/hr

今後、気候変動を考慮した対策を行う必要がある



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

2 社会情勢の変化による影響について

人口減少による
担い手不足

×

施設維持管理
の重要性増大

より効率的な計画、施策が求められる

今後の方向性を施策内容に反映する



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

前回の振り返り

1 雨水マスタープランの中間評価について

- ・ 社会情勢の変化による影響
- ・ 社会情勢の変化及び時点修正による見直し（報告）
- ・ 実績報告及び目標値の再設定（審議）



3 社会情勢の変化及び時点修正による見直し

【社会情勢の変化による見直し】

○ 浸水リスクの高い地区における重点的な下水道の整備 冊子 p.32

現行

- ・ 浸水リスクの高い「追田排水区」、「勢井前第一排水区」、「大山田第一排水区」(重点地区)においては、その他の排水区(一般地区)より高い水準で雨水管渠やその排水機能を補う調整池の整備を行います。

重点地区の整備水準：1時間当たり最大雨量62mm(10年確率)

一般地区の整備水準：1時間当たり最大雨量56mm(5年確率)



○ 浸水リスクの高い地区における重点的な下水道の整備

見直し後

- ・ 「追田排水区」、「勢井前第一排水区」、「大山田第一排水区」(重点地区)においては、その他の排水区(一般地区)より高い水準で雨水管渠やその排水機能を補う調整池の整備を行います。

重点地区の整備基準：1時間当たり最大雨量68mm(10年確率×1.1倍)

一般地区の整備基準：1時間当たり最大雨量62mm(5年確率×1.1倍)



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

3 社会情勢の変化及び時点修正による見直し

【社会情勢の変化による見直し】

⑩ 下水道の維持管理

主体 行政

冊子 p.35

現行

○ 調整池やポンプ施設の点検

- ・調整池やポンプ施設の点検を継続的に実施していきます。

⑫ 維持管理計画の更新

主体 行政

○ 調整池等ポンプ施設長寿命化計画の更新

- ・調整池やポンプ施設の点検データや設備の更新データを蓄積し、調整池等ポンプ施設長寿命化計画を更新していきます。



⑩ 下水道の維持管理

主体 行政

見直し後

○ 調整池や雨水幹線等の点検・調査

- ・改築・修繕の優先度を整理するため、施設の点検調査を行います。

○ 第3次ストックマネジメント計画の策定

- ・社会情勢の変化を見据え、より効率的な維持管理を行うための計画策定を行います。

○ 下水道施設の改築・修繕

- ・ストックマネジメント計画に基づき、調整池、雨水幹線等の改築・修繕を行います。

前回の振り返り

1 雨水マスタープランの中間評価について

- ・ 社会情勢の変化による影響
- ・ 社会情勢の変化及び時点修正による見直し（報告）
- ・ 目標値の再設定（審議）

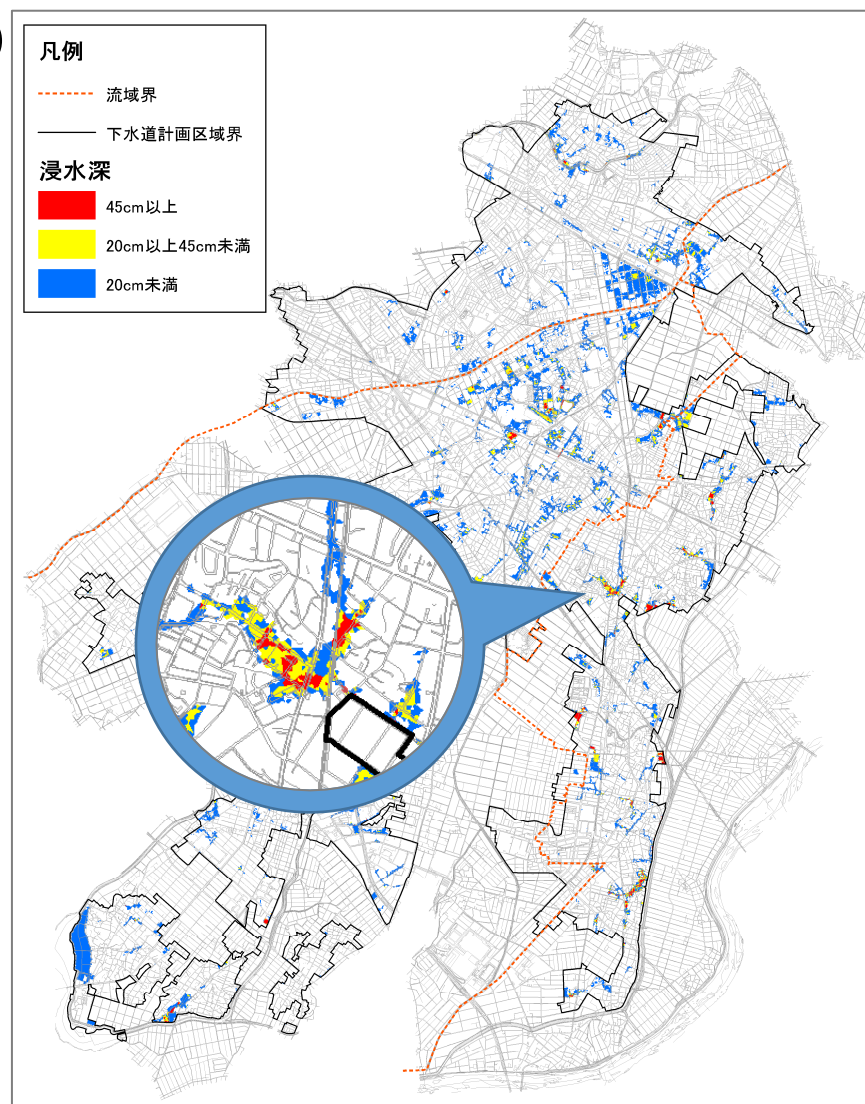


4 実績報告及び目標値の再設定

(1) 段階的な目標値①（雨水流出抑制量）

計画降雨の1.1倍の降雨（L1.1降雨）での浸水シミュレーションを行い、下水道計画区域内における湛水量を算出しました。

項目	湛水量 (m ³)	備考
浸水深 45cm以上	20,497	床上レベル
浸水深 20cm以上 45cm未満	60,974	床下レベル
計	81,471	約81,500



浸水想定区域（計画降雨量*1.1倍）



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

4 実績報告及び目標値の再設定

【目標値の設定について】

主体	雨水対策の内容	雨水流出抑制量(m3)			
		令和7年度まで			令和12年度まで
		目標	実績	達成率	目標
行政	河川整備計画及び下水道計画に基づき、計画降雨に対する雨水流出抑制施設の整備を行う。	1,500	0	0%	7,900
事業者	民間施設において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。	15,400	33,983	221%	73,600 (67,500)
市民	私有地において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。				
行政／事業者／市民	行政・事業者・市民が協働し、水田貯留等の事業を推進する。				
合計		16,900	33,983	201%	81,500(75,400)

- 全体の目標値としては、気候変動を踏まえ、**81,500m3**とする。
- 行政の目標値については、今後の施設整備の指針でもあるため変更しない。
- 事業者、市民、行政/事業者/市民の目標値としては全体の目標値を満たすよう調整する。



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

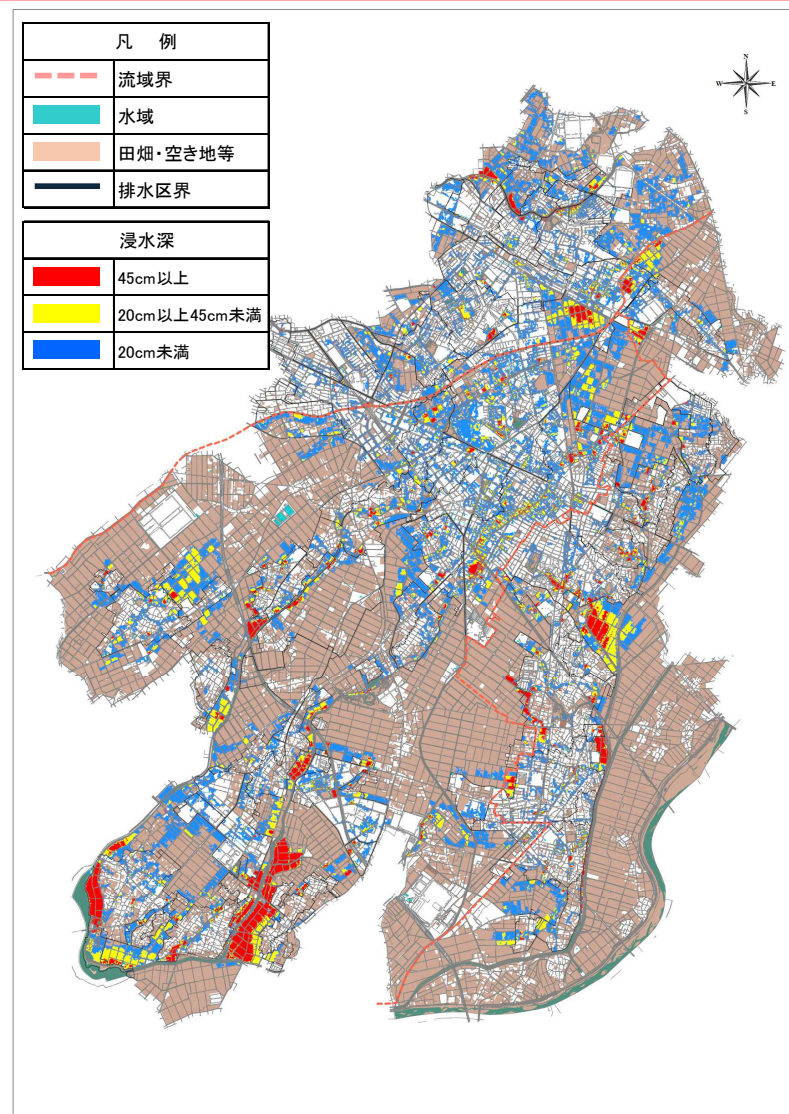
4 実績報告及び目標値の再設定

(2) 段階的な目標② (マップ作成等地区数)

詳細モデルを用いて、想定最大規模降雨での浸水シミュレーションを行い、下水道計画区域内における浸水リスク地区を再整理しました。

項目	対象地区数	備考
浸水深 50cm以上	63地区	変更なし

※想定最大規模降雨とは
特定の河川流域において過去に観測
された最大の降雨量に基づき、国が
設定した降雨の基準
中部地方の場合、147mm/hr。



内水浸水想定区域（想定最大規模降雨）

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

4 実績報告及び目標値の再設定

（２）ソフト対策の目標設定について

- 詳細シミュレーションを行い、対象地区数を検証した。
→地区数に変更は無い。

- 市民が主体であるため、「**市民/行政**」に変更する。
- 地区の実情に応じた取り組みとして、「**水害に関する勉強会**」を追記

見直し案

主体	雨水対策の内容	手作りハザードマップ 作成等地区数			
		令和 7 年度まで			令和 1 2 年度まで
		目標	実績	達成率	目標
市民 / 行政 (行政/市民)	想定し得る最大規模の浸水想定区域（浸水深50 c m以上）において、手作りハザードマップの作成 または、水害に関する勉強会を行う。	40地区	40地区 (見込み)	100% (見込み)	63地区

今回の内容

1 前回の振り返り

2 雨水マスタープラン改定案について（審議）

- ・ 全体の構成
- ・ 新規で追加された要素
- ・ 施策内容の見直し
- ・ 目標値の再設定

3 今後のスケジュールについて



2 雨水マスタープラン改定案について

【全体の構成】

記載場所の変更

内容の見直し

新規追加

〔 目 次 〕

改訂前

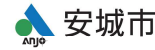
第1章 はじめに	1
1-1 安城市雨水マスタープランとは	1
1-2 相次ぐ豪雨災害による雨水対策事業の進展	3
第2章 安城市における雨水対策の課題	7
2-1 これまでの取組状況から見えてきた課題	7
2-2 市民アンケートから見えてきた課題	21
2-3 浸水リスクの検証から見えてきた課題	24
2-4 まとめ	26
第3章 これから目指す雨水対策の方向性	27
3-1 理念	27
3-2 基本方針	27
3-3 新たな施策体系	28
3-4 段階的な雨水対策の目標	29
3-5 持続可能な開発目標（SDGs）との関係	31
第4章 施策の取組内容	32
4-1 河川・下水道の整備	32
4-2 河川・下水道の維持管理	34
4-3 雨水浸透施設の整備	36
4-4 グリーンインフラの推進	37
4-5 雨水貯留施設の整備	38
4-6 防災対策の推進	40
第5章 計画の運用	42

〔 目 次 〕

改訂後

第1章 はじめに	1
1-1 安城市雨水マスタープランとは	1
1-2 理念	3
1-3 基本方針	3
1-4 相次ぐ豪雨災害による雨水対策事業の進展	4
第2章 雨水対策を取り巻く課題	9
2-1 第1次計画期間の取組内容から見えた課題	9
2-2 第2次計画期間に見えた新たな課題	10
2-3 雨水対策課題に対する取組内容	11
第3章 安城市における雨水対策の課題に対する取組内容	12
3-1 河川・下水道の整備	12
3-2 河川・下水道の維持管理	14
3-3 雨水浸透施設の整備	16
3-4 グリーンインフラの推進	17
3-5 雨水貯留施設の整備	18
3-6 防災対策の推進	20
第4章 雨水対策の目標	23
4-1 ハード対策	23
4-2 ソフト対策	24
4-3 持続可能な開発目標（SDGs）との関係	25
第5章 計画の運用	26
5-1 取組みのフォローアップ	26

2 雨水マスタープラン改定案について



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【新規で追加された要素】

2-2 第2次計画期間に見えた新たな課題（10頁）

①気候変動の影響

②施設の老朽化による影響

2-3 雨水対策課題に対する取組内容（11頁）

- ・施策の概要を記載



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

2 雨水マスタープラン改定案について



安城市



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【施策内容の見直し】 (13, 14頁)

3-1 ③浸水リスクの高い地区における重点的な下水道の整備

- ・ 気候変動を見越した新たな整備基準を設定 (計画降雨×1.1)

3-2 ⑪下水道の維持管理

- ・ スtockマネジメント計画を主軸に据えた施策内容に変更



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

2 雨水マスタープラン改定案について

【目標値の再設定】 (23, 24頁)

4-1 ハード対策

- ・ 対策の目標とする降雨について、既往最大規模（平成20年8月豪雨相当）から気候変動を考慮した計画降雨に変更
- ・ 目標値について、各主体ごとの目標値を廃止し、全体の目標値のみとした

4-2 ソフト対策

- ・ 施策内容について水害に関する勉強会を追加
- ・ 手作りハザードマップの周知方法について記載



今後のスケジュール

項 目	実施予定時期	内 容
第 1 回審議会	7 月	現雨水マスタープランの内容及び改訂方針の説明
第 2 回審議会	1 0 月	見直しの方向性について
第 3 回審議会	1 1 月	雨水マスタープランの改定案の提示
修正案確認	1 2 月	雨水マスタープラン修正案の確認（書面）
パブリックコメント	令和 8 年 1 月上旬～下旬	雨水マスタープランの改定案への意見募集
第 4 回 審議会	令和 8 年 2 月下旬	雨水マスタープランの改訂版の確認



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**